



つきなみ旅エクスカージョンプログラム vol. 8

蛍の舞う自然環境を守り続けるみやま市
阿蘇神社がみやま市に創建された背景には、
蛍との深い関わりがあった。

筑後乃国阿蘇神社の 歴史を巡る散策体験



2025
5月31日(土)
9:30 スタート
受付開始
9:00 -



新たに復元・奉納された刀剣「令和の蛍丸」

御朱印は別料金となります

参加費

2500円

- ・線香花火「鍛刀花火「蛍丸」」付
- ・雑木の庭「武蔵野」ケーキセット付

集
合
場
所

筑後乃国阿蘇神社
みやま市高田町海津1642

催行者

筑後乃国阿蘇神社

ご予約
お問合せ

みやまブランディング
推進委員会
〒835-0023
みやま市瀬高町小川5
(みやま市商工観光課)

TEL 0944-64-1523

プログラム

「筑後乃国阿蘇神社の
歴史を巡る散策体験」
詳しくは裏面をご参照ください。





蛍の舞う自然環境を守り続けるみやま市
阿蘇神社がみやま市に創建された背景には、
蛍との深い関わりがあった。

「筑後乃国阿蘇神社の歴史を巡る散策体験」

南北朝時代、延元二年（834年）、南朝方についた阿蘇の大宮司・阿蘇惟直と義弟の恵良惟澄たちは、多々良浜の戦い（現福岡市東区）にて大敗し、阿蘇惟直は惟澄に大太刀を託して自刃します。恵良惟澄は辿り辿って杣の里（現八女市）より落ち延びて矢部川のほとりで眠りに誘われていた時、無数の蛍が刀を修復した夢を見たそうです。そして現在のみやま市高田町海津の地まで落ち延びた惟澄を匿った大木城主の大木貞久が、故郷の阿蘇の大明神を分霊することを勧めたため、惟澄は、海津の地に阿蘇の神様を奉祀しました。

刀を修復した蛍は、昔の人にとって自然豊かな神聖な場所に生息する神の使いであり、人は自然を敬い感謝し共に生きよとする姿勢を持つことで、自然と神からのご加護や導きを得られるというメッセージと捉えることができます。

今回は、自然と調和したお庭づくりをされている「雑木の庭武蔵野」でのキーセット付で、筑後乃国阿蘇神社の歴史について、神職に説明を頂きながら、縁のある地を巡る体験です。

プログラム

9時00分 受付開始

9時30分 プログラム開始

阿蘇神社→大木城跡→早鷹宮→雑木の庭武蔵野→阿蘇神社
（新たに復元・奉納された刀剣「令和の蛍丸」の鑑賞）
アンケート記入

12時30分 終了

開催日 令和7年5月31日（土）

時間 9時30分スタート（受付開始9時より）

集合場所 筑後乃国阿蘇神社

参加料金 2500円

定員 10名（最少催行1名）

お土産

幻の刀剣「蛍丸」にちなんだ
特製の線香花火「鍛刀花火」「蛍丸」

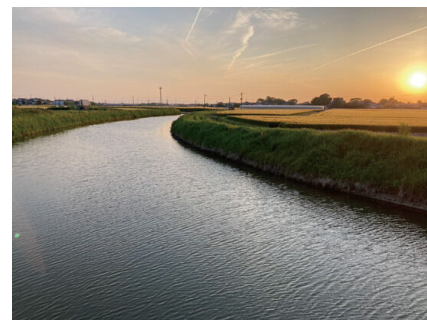


くらし調う、
みやま有明。

水のみやこ山門のくに、ありがとうの風景

つきなみ旅連載コラム vol.8

旧暦の5月5日にあたるこの日、阿蘇の大明神である「健甞龍命」を祀る「筑後乃国阿蘇神社」から、つきなみ旅®をご用意いたしました。健甞龍命は、甞と龍蛇にまつわる神様で、地震など自然の災いを鎮めること、水を治めることができるありがたい神様です。そして、兼務社でもある水天宮も水の神様ですね。古代より、稲作を中心とした文化を育んで来たこの国では水を治めることがとても大事でした。この阿蘇神社の鎮座する地は海津と呼ばれ、古代の古代には湊（津）があったようです。実際、水天宮の前は水路になっており、藁でつくった蛸の御供物が奉納され往時を偲ぶことができます。そして蛍、矢部川流域は源氏蛍の発生地として国の天然記念物にも指定されており、なにかと水にかかわる文化の香りが感じられますね。雑木の庭が美しい武蔵野カフェの周りは、水路や社、麦畑、蛍と共に水が支える暮らしの風景が美しい佇まいを見せてくれます。



ブランディングアドバイザー

福井 隆

東京農工大学大学院客員教授
地域生存支援 LLP 代表
「地域で生きる、希望をつくる」事業化支援ファシリテーター

誇り高き地域の歴史と伝統

山川ほたる鑑賞

筑後乃国阿蘇神社は、南北朝時代の戦いで傷んだ名刀を無数の蛍が修復したといわれる「蛍丸」の伝承で知られていますが、現代の日本では、かなり山を分け入った奥地でしか、もう蛍を見ることができなくなりました。

ところが、みやま市では山川町の蒲池山ため池上流で、今もなお蛍観賞ができます。

蒲池山ため池は、1717年柳川藩の重臣・田尻惣馬によって整備拡張され、水田灌漑用に改造された大きな貯水池です。当時は、機械も何もない時代で、多くの人力にたよった一大工事でした。完成により、大根川の水源として下流域の多くの田畑を潤すことが可能になり、地元の特産である「山川みかん」栽培にも欠かせない用水として今日も恵みを与えています。また、福岡県で唯一「全国ため池百選」に選ばれるほど環境が保たれ、池の上流では今でも蛍の乱舞を堪能できます。今年も、気象条件により多少前後するかもしれませんが、5月末頃から6月初旬の20:00～21:00にかけて、みやま市かも川公園（山川町蒲池山ため池上流）で、ほたる観賞ができます。

蛍観賞のマナーはとても重要です。蛍を採集してしまったり、光でコミュニケーションをとっている蛍に対し人工的な照明を向けることにより交配ができずに子孫を残せなかったり、またゴミを捨てることなどはもってのほかです。そして、観光客が道を塞ぎ、地域住民の交通に支障を来したりすることのなきよう、みんなでマナーを守りながら次の世代も蛍観賞ができる「みやま市」を維持したいですね。

